めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく，明日が待たれる学校』
学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校
電話　059-378-0063
FAX 共用　059-378-0006
校長　山中　喜宏
https：//www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和５年９月 15 日 No.13

全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組

令和５年４月 18 日(火)に６年生を対象に実施した「令和５年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。

この調査は，児童の学力・学習状況を把握し，授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。この調査で測定できるのは学力の特定の一部分であり，学校における教育活動の一側面です。このことを十分に考慮し，今後，成果や課題を学校・家庭・地域で共有し，取組をさらに充実していきます。

１　教科に関する調査結果

【平均正答率】

	国語	算数
本校 （全国との差）	全国と ほぼ同じ	全国より 低い
全国	67.2%	62.5%

６年生が，粘り強く取り組みました。

【領域別正答率：国語】（%）

国語の領域	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
本校 （全国との差）	全国より 高い	全国より 低い	全国より 高い
全国	72.6	26.7	71.2

【領域別正答率：算数】（%）

算数の領域	数と計算	図形	変化と 関係	データの 活用
本校 （全国との差）	全国より やや高い	全国より やや高い	全国より 低い	全国より 低い
全国	67.3	48.2	70.9	65.5

各教科の平均正答率は，国語は全国平均とほぼ同じでした。算数は全国平均をやや下回っています。

国語は，漢字，敬語等の平均正答率が比較的高かったです。一方記述式の問題は平均正答率が低い傾向にあります。また，領域別では「書くこと」の平均正答率が，全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。子どもたちの解答の状況から，初見の文章の読み取りや与えられた条件に合わせて問いに答えることに課題がみられました。

算数は選択式の問題や表から必要な数を読み取る問題は平均正答率が比較的高かったです。

一方，国語と同様に記述式の問題は平均正答率が低い傾向にあります。問題の文章や図の説明を理解すること，答えの求め方を式や言葉で説明することに課題が見られました。

2 国語・算数のできているところとできていないところ《○:できているところ ●:できていないところ》

【国語】

○日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題の平均正答率が全国平均を上回った。　本校:71.7%(全国:57.6%)

○目的や意図に応じ,話の内容をとらえ,話し手の考えと比較しながら,自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題の平均正答率が全国平均を上回った。
本校:80.4%(全国:70.2%)

●図表やグラフなどを用いて,自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる記述式の問題に課題がある。　本校:17.4%(全国:26.7%)

平均正答率が低かった問題です。

1　川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、【川村さんの考え】と川村さんが選んだ【カード①】から【カード⑤】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。

川村さん

【カード①】

6月24日
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいきょうするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
・調査方法　週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
・調査きかん　7月1日～15日

【カード③】

7月19日
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
・雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日
[農家の石山さんのお話]
・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
[学校でできる解決方法]
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

2　川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の□に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、□に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【川村さんの文章】

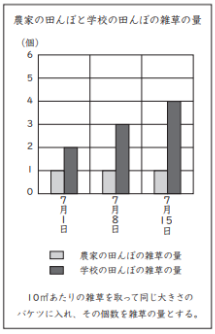
学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ くらべてみました。ウ きかんは7月1日から15日までです。

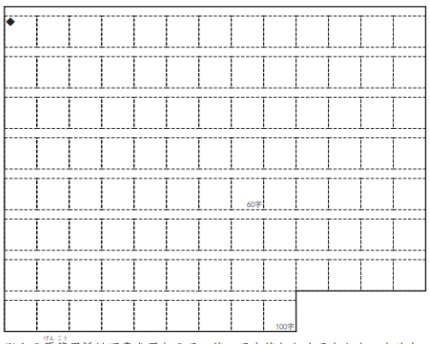
右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

□



このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしゅうかくすることができました。

〈条件〉
○ 学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。
○ 問題点の解決方法については、【カード⑤】をもとにして書くこと。
○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。



※上の原稿(げんこう)用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

《今後の学校としての取組》

□ 初見の文章を読み取る学習機会を設ける。

・ 国語以外の教科（道徳や社会など）においても，初見の文書の内容を正しく読み取ることに取り組んでいきます。

・ 各種ワークシート（読む書くワークシートや読む YOMU ワークシート）を活用し，読み取る力を育成していきます。

□ 求められる条件（文字数を指定したりキーワードを用いたりするなど）にあわせて記述する学習の機会を設け，書くことに慣れる取組を行っていきます。

【算数】

○(2 位数）÷(1位数)の筆算について，図を基に各段階の商の意味を考えることができるかどうかの問題の平均正答率が全国平均を上回った。　本校：58.7%(全国：47.6%)

●示された棒グラフと，複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み，見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかを見る問題の平均正答率が全国平均を下回った。
本校：45.7%(全国：56.2%)

平均正答率が全国より低かった問題です。

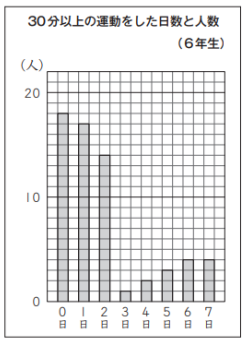
(3)　あいかさんたちは、５年生と６年生に**運動カード**を配って調べた結果をポスターにのせるために、30 分以上の運動をした日数と人数をグラフに表すことにしました。

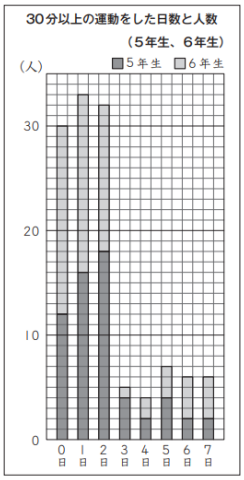
あいか

自分の学年である６年生の結果を表しました。

はやと

５年生と６年生を合わせた結果を表しました。





あいかさんたちは、左の２つのグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

あいか　どちらのグラフも「０日」、「１日」、「２日」の人数が多いということが同じですね。

はやと　でも、２つのグラフをくわしく見ると、ちがうところもありますね。

そこで、あいかさんたちは、日数に着目して、２つのグラフのちがうところを、次のようにまとめました。

【「０日」についてまとめたこと】

「０日」に着目すると、次のようなちがいがあります。
６年生のグラフでは「０日」の人数が１番目に多く、５年生と６年生を合わせたグラフでは「０日」の人数が３番目に多いです。

【「０日」についてまとめたこと】と同じように、**「１日」**に着目してまとめると、どのようになりますか。
下の［　　］の中に、「６年生のグラフ」、「５年生と６年生を合わせたグラフ」、「番目」の３つの言葉と数を使って書きましょう。

【「１日」についてまとめたこと】

「１日」に着目すると、次のようなちがいがあります。

※　解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

●高さが等しい三角形について，底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断し，その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題の平均正答率が低かった。
本校 21.7%（全国：20.8%）

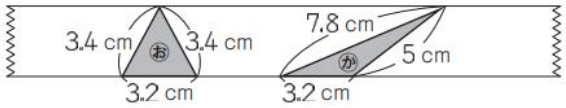
●記述式問題に課題がある。

《今後の学校としての取組》

- □ 記述式問題に課題が見られるので，考えや答えを記述したり，説明したりする学習に取り組みます。
- □ 問題文の内容を図や数直線を用いて表すなどして理解を促す学習に取り組みます。
- □ 計算式で答えを求められるだけでなく，求め方を記述する機会を設けます。

平均正答率が低かった問題です。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㋐と㋕の２つの三角形をつくります。



上の㋐と㋕の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の **1** から **4** までの中から１つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 ㋐の面積のほうが大きい。

2 ㋕の面積のほうが大きい。

3 ㋐と㋕の面積は等しい。

4 ㋐と㋕の面積は、このままでは比べることができない。

３　児童生徒質問紙より

児童生徒質問紙は，児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活の諸側面や豊かな心の育成に関わること，学習環境や授業等の教育活動などへの問いがあります。以下に，本校の結果と特徴をまとめました。

【豊かな人間性（自己肯定感，社会への関心等）に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国との比較
自分には，よいところがあると思う	76.1	81.9	83.5	-7.4
将来の夢や目標を持っている	73.9	80.6	81.5	-7.6
人が困っているときは進んで助けている	91.3	92.3	90.6	+0.7
いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思う	100.0	97.4	96.9	+3.1
今住んでいる地域の行事に参加している	65.2	64.4	57.8	+7.4
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	80.4	77.9	76.8	+3.6

※数値は，各質問に「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」と回答した割合（%）

【家庭生活（生活習慣，家の人との会話）に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国との比較
朝食を毎日食べている	95.6	93.6	93.9	+1.7
毎日，同じくらいの時刻に寝ている	78.3	80.1	81.0	-2.7
毎日，同じくらいの時刻に起きている	89.2	90.7	90.5	-1.3

※数値は，各質問に「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合（%）

【学習習慣（家庭学習や自主学習）に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国との比較
家で自分で計画を立てて勉強をしている ※1	71.7	68.7	70.7	+1.0
学校の授業時間以外に，普段(月～金)，1日当たりどれくらいの時間，勉強をするか（学習塾等を含む）【1時間以上との回答】	54.3	54.0	57.1	-2.8
学校の授業時間以外に，普段，1日当たりどれくらいの時間，読書をするか（漫画等は除く）【10分以上の回答】	28.2	57.2	60.0	-31.8
読書は好きですか ※2	50.0	70.1	71.8	-21.8

※1 数値は，「よくしている」「ときどきしている」と回答した割合（%）
※2 数値は「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」と回答した割合（%）

● 調査結果からは，国・県と比較して自己肯定感が低いことがうかがえます。
○ ほとんどの児童が，毎朝，同じくらいの時刻に起床し，朝食を食べています。
○ 自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が高いです。
● 学校での授業時間以外に 10 分以上の読書をしている児童の割合は国・県を大幅に下回っています。

《今後の学校としての取組》
□ 図書委員会の取り組みを通じて，学校図書館の利用を促し，読書量が確保できるよう子どもたちに働きかけていきます。
□ 中学校区で取り組んでいるノーメディアデーにおいて，学習時間や読書時間を記録する取り組みを行い，家庭学習や読書の習慣がつくよう働きかけます。

4 家庭・地域のみなさまとともに，子どもの「学びと育ち」を支えましょう

家庭・地域のみなさまには，今後も本校の教育活動へのご理解・ご協力とともに，子どもたちの成長へのサポートをお願いします。

（1）自己肯定感や規範意識を高めさせましょう。
- 子どものよいところ，がんばったことを認め，声をかけましょう。
- ほかの子どもと比べるのではなく，前より成長したところ，できたことを見つけ，ほめましょう。
- 子どもたちがあいさつや社会のルール・マナーを身に付けられるよう，私たち大人が言動の手本を示しましょう。
  また，人として許されないような子どもの言動があれば，見逃さずに指導しましょう。

（2）規則正しい生活リズムを身に付けさせましょう。
- 十分な睡眠時間を確保するため，規則正しい生活習慣を身に付けさせましょう。

（3）家庭で学習する習慣を定着させましょう。
- 学習時間（宿題・自主勉強等）を設定しましょう。
- 読書をする，新聞を読むなど活字に触れる機会を持ちましょう。
- テレビ，スマートフォン，ゲーム機器等のメディア機器の使用に関するルールを家族で話し合って決めましょう